

歴史学コースのコンセプトと新任教員に期待するもの

(1) 研究・教育組織

歴史学コースは、日本史2人、東洋史1人、西洋史1人の研究者・教員によって構成されています。

(2) 歴史学コースの研究・教育理念

人文科学の教育研究を深みある内容のものにしていくためには、歴史学的接近が不可欠になります。歴史学コースは、日本史・東洋史・西洋史を総合的に学ぶ場であり、本学部における教育研究の重要な一環を構成し、学生が歴史的に社会を考察する力を自らのものにしていくことをめざしています。

歴史学コースにおいては、近年の諸論争に至るまでの方法論的課題を検証しながらそれぞれの歴史を概観する「日本史概論」「東洋史概論」「西洋史概論」を通じて基礎的・全般的な知識を身につけるとともに、個別のテーマに即して展開される「日本史特論」「東洋史特論」「西洋史特論」を通じて歴史研究の各領域における最新の成果と方法を学ぶことができるようにしています。

科学的な社会認識を支える歴史学は、史料を読み解く能力を不可欠のものとしています。学生が基本的な史料を原典で読み解く力を身につけるように、少人数のゼミナールである「日本史基幹演習」「東洋史基幹演習」「西洋史基幹演習」及び「日本史発展演習」「東洋史発展演習」「西洋史発展演習」を必修科目にしています。

そして、歴史的に考える力を身につける最も重要な教育の場として卒業論文を位置づけ、その執筆に向けた準備を学生が早くから進めることを、あらゆる機会を通じて支援します。

(3) 新任教員に期待すること

歴史学コースの研究・教育について、バランスのとれた充実を図り、人文学部全体の発展を図るため、新任教員に対し、とくに以下のような点を期待します。

- ① 広い視野で研究を進め、学生の教育にも熱意をもって取り組むことができる方。
- ② 分野の他教員の研究領域と有機的かつ相互補完的に連携した教育を担当できる方。
また外国語史料を読み解く指導ができる方。
- ③ 学部とコースの運営に積極的な姿勢で臨むことができる方。
- ④ 地域貢献に積極的な姿勢で臨むことができる方。